

第 60 回技能五輪全国大会「プラスチック金型職種」反省会

日時：令和 4 年 11 月 29 日 (火) 13:30～15:30

場所：Teams によるリモート会議 ※主査、競技委員、中央協会は職業大

議事録

1. 挨拶／紹介

競技委員 出席者

新家主査、高本委員、飛田委員、平良委員、佐藤委員、早田委員、安藤委員、吉田委員、宮坂委員（リモート）、古井戸委員

中央協会

佐々木様、池田様、須藤様

2. 参加企業自己紹介 各企業（カッコ内は次年度の参加予定選手数）

日立 Astemo 中河原様・勝野様(2)、日立グループ「バルブソリューションズ」村田様(2)、富士電機エテック 伊藤様・高橋様(3)、SUBARU 樺澤様(2)、本田技研工業 田口様(4)、セイコーエプソン 松原様(4)、ジェイテクト 森田様(2)、トヨタ自動車 平野様(4)、トヨタ車体 尾崎様(2)、豊田合成 魚住様(2)、トヨタ紡織 篠原様(3)、デンソー 水谷(2)

参加選手数の確認

・60 回入賞選手で継続参加者を含め 32 名が 61 回大会へ参加の見込み

➡60 回大会同様に日立 Astemo 様の会場で実施の場合は若干見学場所が狭くなることが懸念されますがご協力をお願いいたします。（吉田委員）

3. 国際大会報告

WSC2022 エキスパート 古井戸より報告

- ・開催概要、賞結果
- ・競技概要紹介
- ・各国得点詳細
- ・今後の職種内容変更などについて

※詳細は別途資料送付

4. 第 60 回大会結果報告

新家主査より報告

- ・参加者数
- ・競技時間など
- ・成績結果概要

採点基準（配点など）を変更したが各選手の技能向上が予測を上回り平均点および入賞者の得点分布は昨年よ

りも向上した。中でも 1.2 位の選手の得点は 100 点を上回る甲乙つけがたいものになった。

・課題のレベルと作品の出来栄

競技課題 1 は製品の形状を図面から読み取りやすい「ハンドルカバー」を採用し、変更点も多くの選手が完成できる程度を狙って出題している。結果、予測通り多くの選手が満点を獲得し、時間加点を獲得した選手も多数いた。競技課題 2 は金型の磨きの程度が製品の見栄えに影響しやすい、磨き平面が広い「アクションカメラ」を採用した。上位選手においては昨年より綺麗な製品がみられた。

・表彰に関すること

➡主査より中央協会へ質問：今回 0.2 点差で非常に僅差になったが金賞 2 個は今後も出ないのか。

回答：規定によれば金賞は 1 個とあり、変えることは難しい。各職種に運営を任せており、それぞれの配点基準も違うのでどれほどの差以内であれば同位の賞とするかは規定することが困難である。（佐々木様、池田様）

・競技の運営、設備に関すること

LIVE 配信が好評であった。さらに関係者以外が観たときに分かりやすいように、現在の進行中の競技概要などテロップなどを運営者と検討していきたい。

搬出時間が遅延してしまった。協賛品の搬出を同日に行う場合はタイムスケジュールを再検討する。

・集計ミスについて

結果公表後に当該企業様よりご指摘を受けて発覚しております。大変申し訳ございませんでした。

次年度以降は競技内容や評価基準の変更がある場合、合同訓練会などでリハーサルを行わせていただくなど事前に大会で使う集計表に間違いがないかテストを実施し対策をしたいと考えております。

・次年度開催について

メイン会場は愛知県国際展示場 11/17（金）開会式 11/20（月）閉会式

職種としては 60 回同様に日立 Astemo 会場で計画中だが次年度の契約前につき未定の状況

5.第 60 回大会反省、次回大会へ向けた改善点・要望など

HP フォーラムにて事前掲示済

・駐車場の件について

➡日立 Astemo 内駐車場に他社様の所有する車両などが入場するとなると、従業員車両との事故リスク回避のための交通整理人員確保などの付帯負担の増や、万一事故があった場合に事後処理等責任を持ってませんので引き続き公共交通機関の利用にご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

（日立 Astemo 中河原様、中央協会 池田様）

・金型、製品の展示について

➡賛成する企業が過半数。ただしスペースや競技後の搬出、帰宅スケジュール等を合わせて精査の必要があるので大会日程計画、レイアウト等が決まり次第再度検討いたします。（5 月以降になる見込み）

・機械精度検査と成形機練習の時間中のメモ用紙や参考資料の持ち込みについて

➡今回競技委員の想定外に成形競技で条件対比表のようなメモを持ち込んだ選手がいた事例があり、その場の

判断で使用を控えるよう指示いたしましたが、次年度は「可」として、注意事項などに明記いたします。合わせて、機械加工の精度検査時も同様の扱いの時間となりますので、今まで暗黙としていました資料等の持ち込みは「可」として明記いたします。

- ・フックレンチ台は昨年フォーラムで認可されていたので競技上の注意事項に明記する。また、同様の事例として図面立てにアームをつけることも「可」として明記します。（作業台のサイズ規定外）

【61 回大会への競技変更検討事項】

- ・競技課題 1 の廃止と得点の再配分（国際大会のモデリング廃止も鑑みて）
 - ➡国際大会では製品モデリングが廃止となったということであるので全国大会も同様で良いと考えます。（ジェイテクト 森田様）
- ・競技課題 2 の図面変更の導入
 - ➡変更場所や課題の形状によって難易度がかなり変わりますが、競技課題 1 の考え方同様国際大会に合わせるのであれば必要と考えます。（トヨタ紡織 篠原様、デンソー 水谷）
- ・金型寸法の公差変更や段階加点の導入案
 - ➡例①公差変更 $\pm 0.02 \rightarrow \pm 0.015$ 例②配点変更 ± 0.01 は 1 点 ± 0.02 は 0.5 点 などの意見がありました。（トヨタ自動車様 事前意見）
- ・成形競技の連続成形個数の変更（金型の精度が生産個数に影響しやすくする）
 - ➡用意された離型剤で行うのは良いと思います。または使用禁止も検討してはいかがでしょうか。使用しない場合 10 個は変更せず。（SUBARU 樺澤様）
- ・離型剤の制限
 - ➡スプレーは企業ごと十分に本数を用意していただきたい。出方が変わるため。また、適した離型剤を選定するのも各企業の準備段階の作戦のうちだと考えます。（富士電機 伊藤様）
- ・成形品外観の採点について
 - ➡離型キズ、カッターマークに関しては、目視で判断しやすい項目のため減点方式にするのはいかがでしょうか。（トヨタ自動車 平野様）

以上の検討事項を 3/9 競技委員会にて最終決定するため、競技委員一同で精査してまいります。

ご意見ご要望は主査へ電話、メールまたはフォーラムでお早めをお願いいたします。

以上

（議事要旨作成 古井戸）